令和7年度事業報告書

事業担当部署 勤労者支援 部会 報告者 平岩 知樹

事業区分		公益3				
事業名称		令和7年度 勤労者支援部会第2回研修会				
3. SE E 13.						
		タイトル:~栄養士会の仲間の職場で学ぶ~ 陸上自衛隊の栄養管理・給食管理				
事業概要		栄養士会の仲間の職場を訪問し、栄養管理と給食管理の実情を学ぶことで、参加者各自が栄養士としての				
	的	資質向上と、各職場での課題を解決するためのヒントを得られる機会とすること。また、今後の栄養士会活動				
		の充実と会員	増に向けて、部	会、都道府県、会員・非会」	員の枠を超えた交流と情報	及交換の機会とすること。 ┃
		日 時 令和 7 年 9 月 27 日(土) 10:00 ~ 14:00				
	内容	日 時 令和 7 年 9 月 27 日(土) 10:00 ~ 14:00 場 所 陸上自衛隊 守山駐屯地				
		対象及び参加予定数 愛知県栄養士会会員、県外栄養士会会員、一般参加者、学生参加者 20名				
		内容のプログラム等 ①基地内見学②講演「陸上自衛隊の栄養管理・給食管理」				
		③現地の給食を試食 ④質疑応答、情報交換会				
		講師: 防衛省 陸上自衛隊 守山駐屯地 業務隊補給科糧食班 加藤 美穂 様				
	果と成	参	加者	愛知県栄養士会 会員 29	9名、非会員 1名	
		結 果 概 要 等 全会員発送書類による案内から2週間足らずで当初の定員に達してしまい				
		受け入れ先の協力で+10名を受け入れていただけることとなった。また、追加後の募集もその後2週間				
		足らずで定員に達する程の反響であった。様々な職域からの参加が見られたことからも「他の職域や				
		施設(事業所)での事例から学びたいという気持ちが強く感じられる。研修で各所を案内や説明を受ける				
		最中にも、積極的に質問をされる様子が大変印象的であった。参加者間で会話もはずみ、研修の目的				
		であった「交流と情報交換」も果たすことが出来たのではないか。				
		やはり、生の現場で見て・触れて・感じることで得られるものは、業務内容だけでなく、モチベーションの 向上にも繋がる。是非とも来年度以降も計画・実施したい研修内容ではないでしょうか。				
		円工にも来が	る。たみとも木土			
			マケルコ	収入金額	支出金額	残額
当初予算		R7年度予算	予算収入	35,000	26,430	43,570
当年度実績		笠1回口班板	職域の予算基礎額	35,000	22.074	20.100
		第1回目研修 第2回目研修	等 実績 等 実績	73,000 48,500	33,874 38,786	39,126 48,840
		第3回目研修	サース (根本) 等 実績	48,300	36,760	40,040
予算	収入計	科目 事業収入	金額	会員研修参加費	積算基礎 1,500 円×	 15 名
		争未収入 //	22,500 12,500		1,500 円× 2,500 円×	5名
		"	12,300	他果会員参加費	2,000 円×	名
		"	0	学生参加費	0 円×	名
			35,000	1 = 2	5 3	П
		諸謝金	0			
	支出	旅費交通費		役員交通費		
		振込手数料		Payvent手数料 参加費合		=2,100円
		//		栄養士会への振込手数料		
		事業運営費		現地 食事準備(食材費、力	n工費) 500円/人×20	
				受入先への手土産代		
	= ⊥	印刷製本費		配布資料準備		
決算	計収	事業収入	26,430 43,500	愛知県栄養士会 会員 参加	加费 1500円 ¥ 20夕	
	入	争未収八 //		<u> </u>		日までに1名キャンセル
	計		48,500	л ムス <i>シ (</i>)		100 CI21/11/2 C/V
	支出	諸謝金	0			
		旅費交通費		実行委員 1名 交通費		
		振込手数料		Payvent手数料2,730円(45	5,500円×6%)、銀行振込=	手数料 110円
		事業運営費	20,050	受け入れ先 手土産購入		
		"		受け入れ先 昼食代 448円	9×32名	
	計		38,786			